

## 新潟県校友会創立50周年にあたって

実行委員長 樋口 和道

立命館大学新潟県校友会は、51年前の昭和40年(1965年)に末川博総長が在学生の進学懇談会で新潟市に来港された際、卒業生有志が集まり本校校友会の新潟県支部としての設立を進めたことから始まっておりま



周年行事は平成8年に30周年を平成18年に40周年と重ね、いよいよ本年に節目となる50周年を迎えることができました。この間、大学本校の発展に伴い、県内在住校友の数も増加し、特に会に若手が増えて来た事で会の活性化が進みました。直近のこの10年では平成24年(2012年)に「オール立命館校友大会2012in新潟」が新潟市の朱鷺メッセで開催され、全国の校友に新潟を知ってもらえた事と、この大会を関東甲信越地区主催として開催したことで新潟県校友会の活動範囲が広がり関東甲信越の各校友会と交流するようになったことは、校友会の発展と活性化の大きなブレイクポイントでした。

おかげで、この50周年記念事業を実施するにあたり、若手を中心として実行委員会に多くの校友の参加を得られました。こうした若者の台頭が今後の新潟県校友会の発展の道を示していると思うと、誠にありがたいことです。本校並びに本校校友会へは感謝の念が絶えません。

併せて、この50周年記念事業を実施するにあたり、多くの県内校友の皆様から熱き寄付金をいただきましたことを、深く感謝申し上げます。

校友会は「立命館」という名前の家に一緒に住んだファミリーである、と言われます。その家族の集まりとしての校友会に資金援助いただけることはうれしい限りです。江川さんの「立命館アニバーサリー」の歌詞の最後にもありますが、「今日は立命の総会だ」と言って家を出て総会会場に向かい、いわゆる家族と会って杯を酌み交わし歓談する。そんなことが日常になる様、委員一同頑張ってます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

## ご挨拶

新潟県校友会 会長 小野 守通

新潟県校友会設立50周年、半世紀の輝かしい歴史とともに慶びたいと思います。

京都から遠く離れた、校友数としても全校友34万人の0.3%にも満たない新潟県校友会が、全国的にみても注目される活動を続けてこられたのは、ひとえに創成期を担われた先輩の皆さん始め校友会活動に関わってこられた全ての皆さんの努力の賜物と感謝申し上げます。

新潟県校友会は時代とともに変わってきました。30周年くらいまでは教員、公務員の方々が主力になり活動されてきました。40周年ころには徐々に民間大手に就職される校友も増え、社会的な広がりを実感するようになりました。加えて近年は平成卒の校友が半数以上を占め、また女性陣の活躍も全国に先駆けて活発になっています。

新潟県校友会は構成メンバーのバランスがいいといわれています。これはどの世代でも参加して楽しめる校友会だということの表れだと思います。私は新潟県校友会のモットーとして「みんな仲良く」と言ってきました。思想信条、社会的地位や性別は関係のない、「立命館の卒業生」というのが共通の集まりです。そしてまた校友会はファミリーの集まりでもあります。これからも学園の発展を願うとともに、同じ新潟に住むものとして親睦を深め、有意義な社会生活を送れますよう、新潟県校友会をますます発展させて行くことではありませんか。



## 祝辞

学校法人立命館 総長 吉田 美喜夫

立命館大学新潟県校友会創立50周年をお祝い申し上げます。貴会におかれましては、「校友会未来人財育成基金」への先導的な取り組みをはじめ、母校愛に溢れる多様なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、「オール立命館校友大会2012in新潟」開催時には、格別のご尽力を賜り、大会成功に多大なご貢献をいただきました。改めて御礼申し上げます。

さて、立命館は、真に選ばれる大学・学園を目指し、2016年度から学園基本計画「R2020後半期計画」をスタートさせました。社会からの期待に応え続ける私立総合学園として、生涯にわたり主体的に学び続ける力を有した人材の育成、グローバル化社会において異なる文化的背景を持った方々と協働できる力を有した人材の育成に努めるとともに、世界大学ランキング200位台を視野に入れた教育と研究の高度化に一層注力してまいります。

また今回の計画では、「更なるネットワーク強化とプレゼンス向上」を基本課題の一つに掲げました。校友の皆様とのネットワークをさらに強固なものとし、オール立命館としての力を結集させながら、様々な課題に取り組み、よりよい未来社会の創造に向けて協働してまいりたく存じます。大学の想いを是非ともご理解いただければと存じます。

4年後、2020年には、立命館は創立120周年を迎えます。18歳人口の減少をはじめ、大学を取り巻く厳しい環境変化の中、将来にわたり立命館が成長を遂げ、社会に貢献する存在であり続けるためには、校友の皆様のお力添えが不可欠でございます。

校友の皆様と活発に意見交換を重ねつつ、ともに立命館の未来を創造できますことを心より願っています。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。



## 祝辞

立命館大学校友会 会長 村上 健治

立命館大学新潟県校友会の創立50周年をお祝い申し上げますとともに、創立以来、貴会を支えてこられた数多くの方々に対し、心から敬意を表します。

さて、貴会の50周年に続き、2019年には立命館大学校友会も設立100周年を迎えます。本会の100年にわたる歴史において、貴会が果たされてきた役割は極めて大きいと確信をもって申し上げることができます。「オール立命館校友大会2012in新潟」の成功、「校友会未来人財育成基金」への積極的な取り組み、そして若手・女性校友の校友会活動参加促進の取り組み等、枚挙に暇がありません。

何よりも大切なことは、その先進性を支える知恵の結集の仕組みを、歴代の会長、執行部の方々が素晴らしいリーダーシップをもって確立されてきたことだと思います。まさに「ローマは一日して成らず」との故事の通りであり、その組織運営そのものが全国の校友会の模範であると思います。

今次50周年を機に、貴会がさらなる発展を遂げられることを祈念申し上げますとともに、貴会会員の一人ひとりが、「校友会と母校は車の両輪」との意識をあらためて強く持っていただき、それぞれのステージでご活躍されますことをお願い申し上げます。



## ◆記念祝賀会次第◆

《午後5時～越後の間》

- 1 オープニングライブ シャンソン歌手 文太郎氏('98・政策)
- 2 開会
- 3 乾杯 長野県校友会会長 大槻 四郎 様('69・法)
- 4 ライブ 三味線プレイヤー 史佳 Fumiyoshi 氏('97・理工)
- 5 アトラクション
- 6 立命館ダイアリー 江川 功 氏('81・営)
- 7 グレーター立命 茨城県校友会幹事長 木山 秀一 様('81・法)
- 8 万歳三唱
- 9 閉会

## ◆公式2次会◆

《午後7時30分～レストラン彩巴》

## ◆記念講演◆

《午後1時～越後の間》

【講師】立命館大学 生命科学部教授 久保 幹 氏

【演題】「味も栄養価も収穫量もアップ！土の「健康診断法」」

## ◆2016年度 定期総会◆

《午後3時～湯沢の間》

## ◆記念式典次第◆

《午後3時35分～湯沢の間》

- 【オープニングアクト】立命館アニバーサリー
- 一 開式宣言 副会長 小野 朋子
  - 二 校歌斉唱
  - 三 開会挨拶 実行委員長 樋口 和道
  - 四 来賓紹介
  - 五 来賓祝辞 学校法人立命館 総長 吉田美喜夫 様  
立命館大学校友会 会長 村上 健治 様  
同志社校友会 新潟県支部長 河端 信雄 様
  - 六 祝電披露
  - 七 五十周年記念表彰 小野 守通 氏
  - 八 記念スライドショー ―当会50年の歩み―
  - 九 閉式宣言 幹事長 小畑 正敏
- 【記念撮影】 《午後4時30分頃 越後の間》